

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔16〕 東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム谷中					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区三ノ輪1-27-11					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 9,617.23㎡のうち5,603.33㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分 駐車場(共用)、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室など					
(6)人員体制	36名 内訳...施設長(1)、事務員(2)、相談員(1)、介護職員(常勤23,非常勤4)、看護職員(4)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	69,037,000	56,262,000	60,621,800	53,950,855	52,984,750
	料金収入等	265,995,000	270,905,000	280,171,000	277,044,145	279,530,250
	管理経費	335,032,000	327,167,000	340,792,000	330,995,000	332,515,000
決算	委託料	40,097,356	56,262,000	60,621,000	53,945,814	52,981,862
	料金収入等	275,080,755	267,658,737	313,105,028	291,200,215	294,510,285
	管理経費	329,208,829	326,693,646	344,512,220	322,315,482	343,420,110
	収支	-14,030,718	-2,772,909	29,213,808	22,830,547	4,072,037
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
入所定員(ショートステイ含む)		人	67	67	67	67
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度
利用率(特養+ショート)		%	99.3	99.0	98.7	96.6
利用者数(特養+ショート)		人	24,300	24,205	24,132	23,687

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

引続き良質なサービスの提供が行なわれており、施設の老朽化に伴う修繕等の増加についても、その都度適切に対応している。また、緊急時事業継続計画（BCP）を作成するなど、災害に備えた体制作りに取り組んでいる。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.2]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [3] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [-] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [3] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数の目標達成 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [3] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)経費縮減のための取組み [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [2]		

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	S	全体的に適切な事業運営がなされている。また、配置基準以上の職員を配置するなど、質の高いサービスを提供するための取り組みがなされている。また、緊急時事業継続計画を作成するなど、災害対策への取組みも行われている。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理において、適切に維持管理が行われている。
(3)利用者の満足度	S	昨年に引き続きリスクカンファレンスを実施し、入居者の転倒事故等を更に減少させることができ、利用者がより安心して生活できる環境づくりを提供している。
(4)歳入歳出	A	予算は概ね適切に執行されている。今後は管理経費の縮減に努めていく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

良好	基準以上の有資格者を配置し、良質なサービスの提供を行うとともに、リスクカンファレンスにより、利用者がより安心して生活できる環境を提供しており、良好な施設運営がなされている。
-----------	--

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

設立から18年が経過しており、計画的に設備保守・保全や修繕、備品の購入を行っていく。また、今後も更なるサービス水準の向上及び管理経費の削減の取組みを行っていく必要がある。